

Project 2 日本文化を紹介しよう

本単元で育成する資質・能力

自律的活動能力・コミュニケーション能力

■指導と評価の構想

(1) 単元について(生徒観・単元観・指導観)

学習前の子ども

〈資質・能力面〉 ※A・D 本校で目指す資質・能力分類

A 自律的活動能力(主体性・実践力・チャレンジ精神)

英語を使って読んだり話したりすることが好きな生徒は多いが、自分の考えを積極的に発表しようとする生徒が目立つ。何事にも自分からチャレンジしてみようという意欲を持っていない生徒がいる。

D コミュニケーション能力(協調性・柔軟性・交渉力)

日常生活では他者と協力して活動できる。しかし、学習場面では、他者の意見を受け入れながら自分の考えをより良いものにしていくという意識は低い。自らの考えに固執してしまうことがある。

コミュニケーションへの関心・意欲・態度

ペアやグループでの活動には積極的だが、他者に自分の考えや気持ちを伝える場面では、自分の考えに自信が持てなくなり、活動に消極的になることがある。

外国語表現の能力(話すこと)

相手意識を持ちながら、自分の考えをうまくまとめ、他者に伝えることが苦手である。

学習後の子ども(目標)

〈資質・能力面〉 ※A・D 本校で目指す資質・能力分類

A 自律的活動能力(主体性・積極性・チャレンジ精神)

どうすれば相手が興味を持ってくれるかと考えながらより良い発表を作ろうと自ら進んで活動したり、他者のために助言をしたりするなどして、課題解決に向けて意欲的に取り組むことができる。

D コミュニケーション能力(協調性・柔軟性・交渉力)

自分・他者の考えをお互いが参考にし合うことでより良い発表を作成できるという経験から、他者と協働的に学習しようという意欲を持つことができ、次の活動でも協働的に取り組むことができる。

コミュニケーションへの関心・意欲・態度

ペアやグループでの学習を積極的に行い、間違えることを恐れずに英語を書いたり話したりしている。

外国語表現の能力(話すこと)

相手意識や自分の考え・意見に自信を持ちながら、日本に来てまもないALTに英語で日本文化を紹介することができる。

〈学習材について〉

- 本単元は、これまで学習してきた語彙や文法を用いて日本文化を紹介するという単元である。身近なことや自分の興味あることを基に調べ、情報を整理してまとめ、他者に伝える活動を設定することができる。そこで、ALTにプレゼンテーションするというパフォーマンス課題を設定した。日本語の分からないALTにプレゼンテーションするという場面設定によって、英語を使う必然性が確保され、また相手意識が生まれやすく、伝わりやすいプレゼンテーションとなるよう構成を工夫しながら英語を使用することができると考えられる。
- お互いの発表を交流しながら良い点や改善点を指摘し合う中で、発表の構成をよりよくすることができるとともに、周りと協力して何かを成し遂げる経験をすることができると考えられる。

本単元で育成する教科の本質

ALTに自分の好きな日本文化をプレゼンテーションするという課題を設定する。これにより、相手意識を持って英語で自分の考えを表現する力を身に付けさせることができる。またペアやグループでお互いの発表や構成の仕方について考え合うことを通じて、自らの考えに自信をもち、間違いを恐れず表現する力を身に付けさせる。

思考スキルを活用した学習過程の工夫

(1) 課題発見・課題設定

プレゼンテーションを作るにあたり、相手に興味を持ってもらえるような発表にするためにはどうすればよいかを検討させる。その際、グループでの活動を取り入れ、多様な考え方を生み出せるようにしたい。

思考スキルとしては、「分類・整理」、ツールとしては「付箋」「ワークシート」を用いる。

(2) 情報収集、情報の整理分析

発表を作る上で必要な資料や言語知識などの情報を収集させる。そしてそれらをもとに発表計画の作成を行う。

(3) まとめ・創造・表現

プレゼンテーションを完成させる。発表計画を作成する際に、ペアやグループでお互いの原稿計画を確認し合い、良い点や改善点を見付けさせる。その中で、自分の発表の改善につなげる。また、実際に具体物をどの場面でどう提示するかなど、発表場面を想定して練習させる。

思考スキルとしては、「比較」「分析」、ツールとしては「付箋」「ワークシート」を用いる。

(4) 実行

作成した発表計画(原稿、具体物の提示計画)をもとに、ALTにプレゼンテーションする。

(5) 振り返り

相手に興味を持ってもらえるプレゼンテーションになったか、また相手に興味をもってもらえる発表とはどんなものかを考えさせ、今後の活動に役立たせる。

(2) 本単元での評価について

○ 資質・能力に係るルーブリック評価（「自分を創る」マップによる ～小中9年間の学びの中で～）

資質・能力	1 (妨害・怠惰)	2 (規律)	3 (自立)	4 (貢献)	5 (幸福)
自己の生き方 価値観 倫理観	自分のまわりを否定的に見て、学ぼうとしない。 自分の快・不快を基準に生きている。	ひと、もの、ことから学んでいく。 人生を誠実に生きようとする。 (夢を持つ)	あらゆるひとから、あらゆるものから、あらゆることから学んでいく。 知的好奇心を持ち、人生を前向きに、誠実に生きようとする。 (夢を語る)	あらゆるひとから、あらゆるものから、あらゆることから自分を高めるために学んでいく。 知的好奇心を絶やさず、人生を前向きに、誠実に生きようとする。 (志を抱く)	あらゆるひとから、あらゆるものから、あらゆることから素直な気持ちで豊かに学んでいく。 (柔軟性、自己理解・他者理解) 知的好奇心を絶やさず、人生を前向きに、誠実に、豊かに生きようとする。 (高い志に向かって)
	目の前の相手や社会が必要としていることを知ろうとしない、あるいは知っても行動に移さない。	目の前の相手や社会が必要としていることを知り、やらなければならないことを行う。	目の前の相手や社会が必要としていることを知り、やらなければならないことをやり遂げる。	目の前の相手や社会が必要としていることを感じ取り、やらなければならないことをやり遂げる。 (使命感)	目の前の相手や社会が必要としていることを感じ取り、人がやらないこと、やりたがらないことであってもやり遂げる。 (高い使命感)
A (自律的活動能力)	目標に対して、自分のこととして行動することができない。	目標をもち、自分のこととして意欲的に行動することができる。	自分で目標をもち、自分事として自ら考え自己決定し、行動することができる。	自分で目標を持ち、自分事として自ら考え、他者との関係において、適切に判断し行動することができる。	ひと・もの・こととの関係においてより高い目標を持ち、自分事として自ら考え、社会にとっての最善解や納得解を導き出すために判断し行動することができる。
D (コミュニケーション能力)	自分の意見を伝え、また他者の意見を受け入れながら、話し合ったり、活動したりすることができない。	自分の意見を伝え、また他者の意見を受け入れながら、話し合ったり、活動したりすることができる。	自分の意見をさまざまな表現方法で伝え、他者の意見を柔軟に受け入れながら、協働して発想したり、活動したりすることができる。	自分の意見をさまざまな表現方法で伝え、他者の意見を柔軟に受け入れながら、比較・検討し、協働して発想したり問題を解決したりすることができる。	自分の思いを適切に表現したり、他者の感情や思いを適切に受け止めたりすることができ、人間関係をつないでいける。



評価	S (十分満足できると判断される)	A (概ね満足できると判断される)	評価方法
A (自律的活動能力)	どうすれば相手が興味をもってくれるかと考えながらより良い発表を作ろうと自ら進んで活動したり他者のために助言をしたりするなどして、課題解決に向けて意欲的に取り組むことができる。	どうすれば相手が興味をもってくれるかと考えながらより良い発表を作ろうと自ら進んで活動することができる。	行動観察・ワークシート・振り返り
D (コミュニケーション能力)	自分・他者の考えをお互いが参考にし合うことでより良い発表を作成できるという経験から、他者と協働的に学習しようという意欲を持つことができ、次なる活動でも協働的に取り組むことができる。	自分・他者の考えをお互いが参考にし合うことでより良い発表を作成できるという経験から、他者と協働的に学習する重要性を理解している。	行動観察・ワークシート・振り返り

○ 英語科の評価について

評価規準	評価方法
●コミュニケーションへの関心・意欲・態度 <ul style="list-style-type: none"> ペアやグループでの活動を積極的に行っている。 間違うことを恐れずに書いたり話したりしている。 	行動観察 振り返りによる自己評価や他者評価 プレゼンテーション
●外国語表現の能力 <ul style="list-style-type: none"> ALT に英語で日本文化を紹介することができる。 	プレゼンテーション 【イ 話すこと (オ)】

(3) 単元の指導計画 (全7時間)

次	主な活動内容	活用する スキル	評 価	
			教科の評価規準 (評価方法)	資質・能力の評価規準 (評価方法)
一 (1)	<p>○本単元で学習する内容やパフォーマンス課題について知る。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALTからのビデオメッセージを見ることを通じて、本単元のパフォーマンス課題を知る。 ・発表例を見て感じたことを分類・整理し、自分の発表をより良くするために必要な内容や表現方法を理解する。 ・分類・整理したものを基に、発表計画を作成する。 <p>課題発見・設定</p>	分類 整理	<p>間違うことを恐れずに書いたり話したりしている。【関】 (行動観察, ワークシート)</p>	<p>A〈自律的活動能力〉 (行動観察・ワークシート)</p> <p>D〈コミュニケーション能力〉 (話し合い活動・振り返り)</p>
二 (2)	<p>○発表計画を作成する。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表原稿を作成する ・発表で使用する写真や資料, 言語知識などを収集する。 <p>情報の収集・整理・分析</p>		<p>間違うことを恐れずに書いたり話したりしている。【関】 (行動観察, ワークシート)</p>	<p>D〈コミュニケーション能力〉 (話し合い活動・振り返り)</p>
三 (2)	<p>○発表の練習をする。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成した発表計画をもとに, ペアやグループでお互いの発表を比較・分析する。 ・グループで確認した改善点をもとに, 自分の発表に改善を加える。 ・作成した発表計画をもとに, 発表の練習をする。 <p>まとめ・表現・創造</p>	比較 分析	<p>ペアやグループでの活動を積極的に行っている。 【関】 (行動観察)</p> <p>間違うことを恐れずに書いたり話したりしている。【関】 (行動観察, ワークシート)</p>	<p>D〈コミュニケーション能力〉 (話し合い活動・振り返り)</p>
四 (2)	<p>○ALTに英語で日本文化を紹介する。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成した発表計画をもとに, ALTに英語で日本文化を紹介する。 <p>実行</p>		<p>ALTに英語で日本文化を紹介することができる。【表】 (発表)</p> <p>間違うことを恐れずに話している。 【関】 (行動観察)</p>	<p>A〈自律的活動能力〉 (行動観察・ワークシート)</p>

■ 本時の展開

○ 本時の目標

ALT の興味をひく発表とするために必要な内容や表現方法を知り、それを参考にしながら自分の発表内容を吟味することができる。

○ ルーブリック評価

評価	S	A	B (Aに達していない) と判断される生徒への手立て
期待する姿	Aに加え、次時以降の準備に向けて、自分が必要とする情報や知識をどのように収集するか、自分なりの準備計画を持つことができる。	ALT にとって興味がわく発表とするために、相手の興味に即した内容や具体物を使って発表することなどに気をつけて発表することが重要であると理解している。	板書やワークシートを参考にさせるとともに、ペアや同じグループの生徒の助言をもとに考えさせる。

○ 学習の展開

	学 習 活 動	◇指導上の留意点 ◆B と判断される生徒に対する手立て	具体の評価規準 (評価方法)
つかむ	○あいさつをする ○ビデオメッセージを見る。 ○本時のめあてを知る。	◇イオン先生 (ALT) がどんなことを話しているのか注意して見させる。 ◇必要に応じて、ビデオを一時停止したり、字幕 (英語) で内容を確認したりする。 ◇夏休みの宿題で作成した My favorite (好きなもの紹介文) を活用して紹介することを確認する。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">イオン先生の興味をひくような発表にするために、自分の発表内容を吟味しよう。</div> ○ルーブリック評価を確認する。		
考える・深める	○発表の例 (ビデオ) を見る ・発表の例から良い点を考える。 ○良い点を分類・整理し、自分たちに必要となる発表内容や表現方法を見付ける。 1. 個人思考する 見付けた良い点を付箋に書き込む。	◇発表の例をビデオで提示する。 ◇例を見る際は、外見的な部分と原稿の両面の良い点に注目して見させる。 ◇必要に応じて、発表内容の確認を行う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">【思考スキル：分類・整理、思考ツール：付箋、ワークシート】</div> ◆個人思考の前に、短時間、ペアで例の内容の確認を行わせる。 ◇ビデオ例で話された発表原稿を配付し、良い点を見付ける参考とさせる。	

	<p>2. グループで共有する。 個人思考で書き込んだ付箋をグループ活動用のワークシートに貼り、考えを共有する。</p> <p>3. 全体で交流する。</p> <p>○より良い発表をするために必要となる内容や表現方法を確認する。</p> <p>○自分の My favorite を使い、発表原稿を吟味する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの文を使用するか精選する。 ・どの場面で具体物を使用するか検討する。 ・新たに加える文を検討する。 	<p>◇グループ共有では、外見的な部分と原稿の内容とを分けて良い点を共有させる。</p> <p>◇ICT を活用し、各グループの共有内容を交流する。</p> <p>◇自分のグループで出ていない良い点を自分のワークシートに記入させる。</p> <p>◇相手意識のある部分に良さを見出している付箋を特に強調して確認する。</p> <p>※相手意識のある部分※ 外見的な部分：視線、話し方、具体物、ジェスチャー など 原稿：相手の趣味を考えた文、おすすめする一言 など</p> <p>◇全体交流で出た良い点を板書し、プレゼンテーションする上で必要となる内容や表現方法を確認する。</p> <p>◇原稿作成で使用できそうな英語表現を簡単に復習する。</p> <p>◇全体でまとめた情報を参考にしながら書かせる。</p> <p>◆新たに加える文を検討する際、発表例の原稿を参考にし、考えさせる。</p>	
まとめる	○まとめ、振り返りをする。		<div> <p>間違えることを恐れずに書いたり話したりしている。 (行動観察, ワークシート)</p> </div> <div> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の授業の中で、自分の発表をより良くするためには疑問文を入れて相手に尋ねるような一言を入れたら良いと分かったので、次回は分からない英単語を辞書で調べていきたい。(S) ・発表するときには、より伝えたい部分を強調して話すことや表情豊かに話すことが重要だと分かったので、次回はどこを強調するか、どんな表情で話すかを色々と試して決めていきたい。(S) ・自分の発表には、「○○」という情報(文、または具体物)を入れると、イオン先生の興味をひくような内容になると思った。(A) </div>